

とよ"市議会だより

第147号



みんなで広げよう
リサイクルの輪

みんなのために"ゴミゼロ社会"



◀平成26年3月23日 やまだエコセンター竣工式

もくじ

第1回 定例会(2月24日～3月24日)

- ◆ 議案質疑 2
- ◆ 予算審査の概要 2～3
- ◆ 常任委員会報告 3～5
- ◆ 議員別表決結果 6
- ◆ 一般質問 7～9
- ◆ インタビュー・編集後記、他 16



USTREAM

YouTube

市議会では、USTREAM(ユーストリーム)や You Tube (ユーチューブ) による市議会インターネット放送を実施しています。生放送及び録画放送は、パソコンだけでなくスマートフォンやタブレット端末*からアプリにより視聴できます。視聴方法等については市議会ホームページをご覧ください。

*パケット通信料がかかります。

平成26年度一般・各特別会計及び水道事業会計の予算ほか、鳥羽市消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定など執行部提出議案21件と議員提出議案4件を審議し、全議案が可決されました。

議案質疑

施政方針の重点は

市長
希望の持てる鳥羽づくり
です

戸上 健

新年度予算の施政方針を詳しく聞きたい。

市長 厳しい予算組みですが、市民の皆さんに希望を持ってもらえることを第一に考えました。なによりも災害に強い街づくり。若い人が鳥羽に住んでほしい定住支援策、そして健康な鳥羽。ウォーキングの鳥羽をやらうと思います。市制60周年もみんなでお祝いしたい。

お金をかけずアイデアで勝負し、本市の独自性を発揮して他市に先駆けて事業展開をしていきます。

最小経費で最大効果にするため、投資額に見合う波及効果の算定を。

市長 十分検討します。

平成26年度当初予算審査の概要

平成26年度一般会計、各特別会計及び水道事業会計予算については、審査日数4日間をかけ詳細に審査を行いました。

平成26年度予算の規模は、一般会計、特別会計及び企業会計で総額199億1622万円となり、前年度と比べ12億634万円(6.4%)の増となっています。

一般会計では、前年度より1億3900万円

(1.3%)減の103億1000万円となっています。また、特別会計では前年度より5億4098万円(8.2%)増の、総額71億5470万円となり、企業会計では、前年度より8億436万円(48.8%)増の、24億5152万円となっています。

審査結果については、予算決算常任委員会に付託された7議案を可決することで審査を終えました。

●全会計当初予算の規模

(単位：千円・%)

		平成26年度	平成25年度 (6月補正後)	前年度比較	
				増減額	伸率
一般会計		10,310,000	10,449,000	△139,000	△1.3
特別会計	国民健康保険事業	3,447,500	3,196,700	250,800	7.8
	介護保険事業	2,470,000	2,242,100	227,900	10.2
	定期航路事業	598,500	564,800	33,700	6.0
	特定環境保全公共下水道事業	148,700	148,400	300	0.2
	後期高齢者医療	490,000	461,720	28,280	6.1
	小計	7,154,700	6,613,720	540,980	8.2
企業会計	水道事業	2,451,520	1,647,160	804,360	48.8
合計		19,916,220	18,709,880	1,206,340	6.4

常任委員会報告

各常任委員会に21議案が付託されました。

総務民生委員会

審査の主な内容は、

次のとおりです。

(議案第8号 鳥羽市消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定について)

問 市町村で独自に定めると説明があったが、今までの内容はどうかであったか。

答 政令では、県職員の課長級以上や消防団の団長などが要件だった。

(議案第9号 鳥羽市職員定数条例の一部改正について)

問 南鳥羽地区へ開設予定の消防施設は、平成28年目途とあったが、ここまで遅れた理由はなにか。

答 12月の委員会では平成28年4月と説明した。施設整備を平成27年中に行い、平成28年度に開設したい。

(議案第10号 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改

正について)

問 平成26年4月以降も答志島清掃センターで従事するが、他に手当はあるのか。

答 特殊勤務手当は10年程前に大きく見直され、縮小の方向にある。松尾清掃センターに従事する職員も職員組合との協議により廃止されるので、同様に廃止する。

(議案第13号 鳥羽市辺地の総合整備計画の変更について)

問 定期船の建造費は各地区に割振りしたのか。また、和具コミュニティセンター建設事業は全額でないのか。

答 船舶建造費は、島ごとの利用者数で案分し、算出している。和具コミュニティセンター建設事業は、26年度は設計費のみで、27年度に建設費の計上を計画している。

文教産業委員会

審査の主な内容は、

次のとおりです。

(議案第12号 鳥羽市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について)

問 一般廃棄物の処理手数料が10キログラムにつき170円になるが、3年間継続する答志清掃センターへ持ち込むと年間どれ位の負担増となるのか。また、対策は考えているのか。

答 直近3年間の持ち込み量の数値に80円から170円にアップする分をかけると、年間126万6000円増の見込みとなる。ごみ減量化の対策としては、生ごみの70%は水分ということで、宿泊施設に二重バケツの購入を補助することにより水きりをして頂いて、手数料が増える分の負担を極力抑えて頂くと考えている。また、今後バイオマスや生ごみみたい肥化など

にも補助していきたい。

(議案第15号 指定管理者の指定について(鳥羽マリントーミナル))

問 マリントーミナルのホームページが無いが、静止画や動画といったツールを使って市民のみならず、広く活動を周知すべきではないか。

答 指定管理者ではポスターやチラシを作成して周知しているが、さらにみなとオアシスでの情報発信も検討したい。

委員会の所管事務調査

本年1月に委員会を開催して今後の方向性を議論したところ、市内小中学校15校へ学校訪問をすることとなり、2月3日から12日にかけて委員7人を2班に分けて派遣となりました。

そこで、児童生徒の基礎学力の現状と課題や、議会や行政に求める役割について、各学校長と意見交換することに

状況を把握することができ、大変有意義な調査となりました。そして、今定例会の委員会において各班が行った聞き取りの報告と質疑後にまとめを行いました。

今後の調査方針としては、来年度早期に校長会や教育委員、PTAと懇談を予定するとともに、特に予算措置の必要性も鑑み、早ければ平成27年度以降の施策に反映して頂くためにも、9月までに調査を終え最終報告として政策提言できる形に持っていくことを確認しました。



▲各小中学校を訪問

予算決算委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

(議案第1号 平成26年度鳥羽市一般会計予算)

(歳出・第2款総務費)

問 広報とばの発行回数を月1回にするのは、県政だよりの各戸配布廃止と関係があるのか。

答 関係なく、お知らせすべき情報は鳥羽メールやケーブルテレビで早めに周知したい。

(第3款民生費)

問 高齢者外出支援車運行業務を他地区へ拡充していく考えはないのか。

答 来年度、高齢者福祉計画の見直しの中で意見を聞いていく。

(第4款衛生費)

問 水切りバケツでどれくらい生ゴミの減量化につながる

のか。

答 半分くらいに減量化でき、申請を何件確保できるかで変わってくる。

(第5款農林水産業費)

問 農地情報公開システムで公開予定の現在の情報管理方法は。

答 紙ベースで管理している。

(第6款商工費)

問 鳥羽みなとまつり大会では、昨年起きた事故を防ぐべく、安全対策や警備はできるのか。

答 専門の警備体制をとり、消火栓の設置や常備の職員を配置し、打ち上げ場所も検討して、安全には万全を期したい。

(第7款土木費)

問 市道維持補修工事の町内会要望総額はどれだけあるのか。

答 今までの工事残は約130件で2億1800万円ある。

各町内会で優先順位を決めて頂き、出来るだけ早く対応したい。

(第8款消防費)

問 消防職員を1名増やしたが、勤務体系は変わらないのか。

答 救急搬送が前年に比べ2割程度増えている。46名になると3台体制がとれ、非常呼び出しが基本的になくなる。

(第9款教育費)

問 鳥羽東中学校へ通学する定期券は授業日以外限定で買えるのか。

答 指定された日限定で使用できるように準備している。

(議案第2号 平成26年度鳥羽市国民健康保険事業特別会計予算)

問 ジェネリック差額通知業務とは何か。

答 ジェネリック医薬品を使うことで医療費が安くなるという通知を11月診療分のみ実

施する。

算)

問 新造船は、きらめき、かがやきとエンジンだけが変わるのか。

答 基本的な船型や規模は同程度のものを考えている。

(議案第5号 平成26年度鳥羽市特定環境保全公共下水道事業特別会計予算)

問 稼働後、15年以上を経過する中で修繕費は変わらない。今後の修理計画はあるのか。

答 周期表を作成して分解点検しながら、少しでも長く使用したい。

(議案第6号 平成26年度鳥羽市後期高齢者医療特別会計予算)

問 全国で25万人が短期証を交付されているが、鳥羽市の状況は。

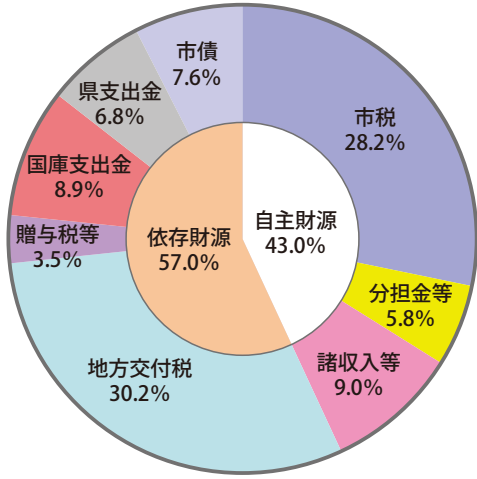
答 2名に6ヶ月証を交付し

(議案第7号 平成26年度鳥羽市水道事業会計予算)

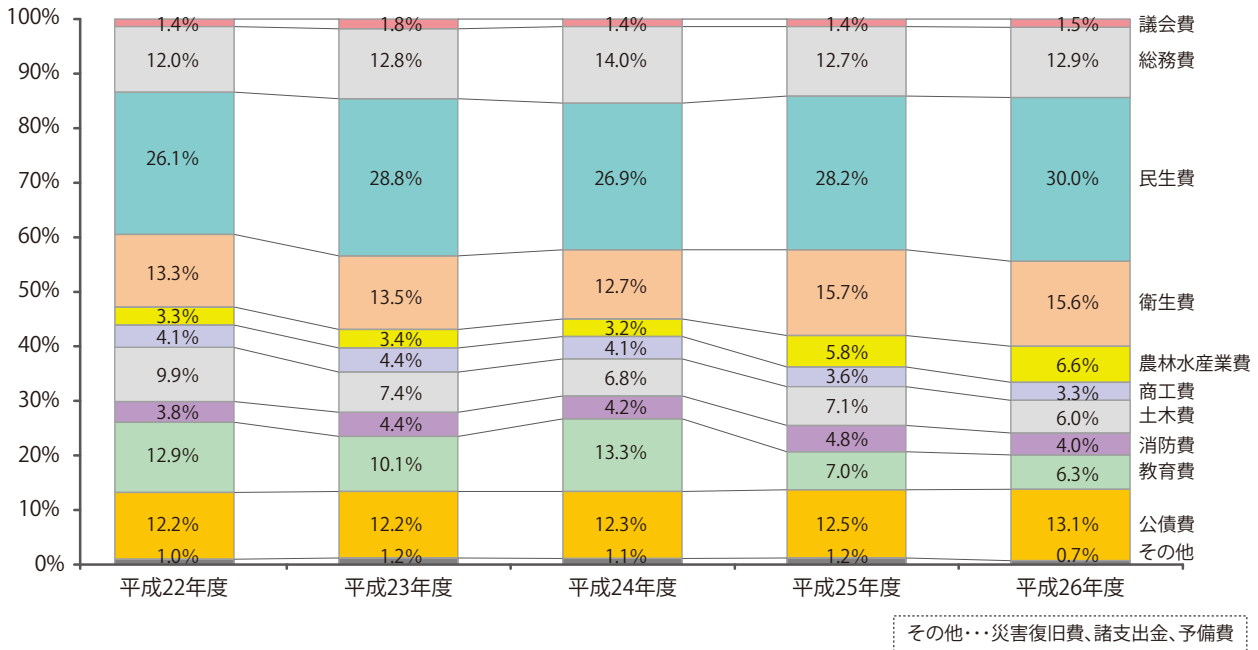
問 簡易水道建設改良は水道ビジョンに基づいて実施しているのか。

答 平成37年までに約40億の事業を計画に基づき実施する予定で、平成25年度は緊急遮断弁の工事を行っており、新年度はポンプと電気設備の更新工事を行う。

● 一般会計歳入予算の構成



● 一般会計目的別歳出予算構成比の推移



新規事業の一例は

- 地域活性化事業…………… 50万円
- ウォーキングサポート事業…… 208万円
- 地域産物生産販売事業…………… 91万円

- 鳥羽HOSUプロジェクト推進事業…………… 400万円
- 建築耐震化促進事業…… 3312万円
- 学力向上推進事業…………… 161万円

◆ 討 論 ◆

戸上 健 議員

《 反対 》

議案第2号 平成26年度鳥羽市国民健康保険事業特別会計予算

議案第6号 平成26年度鳥羽市後期高齢者医療特別会計予算

議案第11号 鳥羽市手数料徴収条例の一部改正について

議案第12号 鳥羽市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について

山本 泰秋 議員

《 反対 》

議案第3号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の特例に関する条例の制定について

平成26年 第1回定例会 議員別表決結果

○：賛成 ×：反対 -：欠席もしくは棄権

議案番号	議案名	議決日	審議結果	戸上健	中世古泉	井村行夫	松井一弥	浜口一利	木下爲一	坂倉広子	世古安秀	橋本真一郎	坂倉紀男	村山俊幸	山本泰秋	野村保夫	寺本春夫	
1	平成26年度鳥羽市一般会計予算	3月24日	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
2	平成26年度鳥羽市国民健康保険事業特別会計予算		可決	×	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
3	平成26年度鳥羽市介護保険事業特別会計予算		可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
4	平成26年度鳥羽市定期航路事業特別会計予算		可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
5	平成26年度鳥羽市特定環境保全公共下水道事業特別会計予算		可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
6	平成26年度鳥羽市後期高齢者医療特別会計予算		可決	×	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
7	平成26年度鳥羽市水道事業会計予算		可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
8	鳥羽市消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定について		可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
9	鳥羽市職員定数条例の一部改正について		可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
10	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
11	鳥羽市手数料徴収条例の一部改正について		可決	×	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
12	鳥羽市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について		可決	×	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
13	鳥羽市辺地の総合整備計画の変更について		可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
14	指定管理者の指定について(船津コミュニティセンター)		可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
15	指定管理者の指定について(鳥羽マリナーミナル)		可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
16	指定管理者の指定について(鳥羽大庄屋かどや)		可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
17	平成25年度鳥羽市一般会計補正予算(第7号)		可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
18	平成25年度鳥羽市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
19	平成25年度鳥羽市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)		可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
20	平成25年度鳥羽市定期航路事業特別会計補正予算(第3号)		可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
21	工事請負契約の締結について(安楽島保育所新築工事)		可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議1	鳥羽市議会の会期等に関する条例の制定について	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
発議2	鳥羽市議会会議規則の一部改正について	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
発議3	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の特例に関する条例の制定について	可決	○	○	○	-	○	×	○	○	○	○	○	×	×	-		
発議4	地方自治体の臨時・非常勤職員の待遇改善と雇用安定のための法改正に関する意見書の提出について	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
報告1	専決処分した事件の報告について (自動車破損事故に伴う和解及び損害賠償の額を定めることについて)	報告につき採決なし																

議長につき表決なし

これが聞きたい

ここが聞きたい

一般質問

第1回定例会

3月3日に4人の議員が
一般質問を行いました。
質問と答弁の概要をお知らせします。

津波避難路の整備は

総務課防災危機管理担当副参事 115カ所つくりました



戸上 健

南海トラフ大地震が間近です。鳥羽市民の命を一人も失ってはなりません。東日本大震災後、本市は何本の避難路を整備しましたか。

総務課防災危機管理担当副参事
115カ所です。

防災震災予算額は。

総務課防災危機管理担当副参事
3年間で13億9000万円、それまでの4・8倍になります。

「市民救命士」制度の導入はどのくらいですか。
消防長 いい提案です。検討いたします。

観光客増の税収効果は

税務課長 5000万円です



▲鳥羽観光の屋台骨 市観光課の窓口

25年の観光客数と消費額はどれだけ増になりましたか。

観光課長 63万5000人増え、消費額は130億円です。

その税収効果は。

税務課長 入湯税で3000万円、法人市民税で2000万円の増です。

国からの地方消費税交付金も4300万円増えています。観光客増を地域の経済と税収効果、雇用効果に波及させなければなりません。経済波及効果を算定していますか。

観光課長 全国の他市状況も参考にしながら検討します。

栃木県佐野市のレポートによると、観光客82人の消費額は常住人口1人分に相当します。この視点で観光客増が地域経済全体に波及するよう情熱を注いで下さい。

なぜ「ウォーキング」なのか

市長 市民が希望をもって楽しめる事業



世古 安秀

何を指して新年度にウォーキング事業を進めていこうと考えてましたか。

市長 第一にウォーキングが健康と歩くことの喜びにつながる。第二に市民が希望を持って楽しめる、お金をかけない予算が必要です。第二に介護保険とか国民健康保険の市民負担が非常に高くなっているなかで、市民が

少子高齢化と人口減少の中で、高齢になっても健康で元気に暮らせる「健康寿命」を延ばすことが求められています。

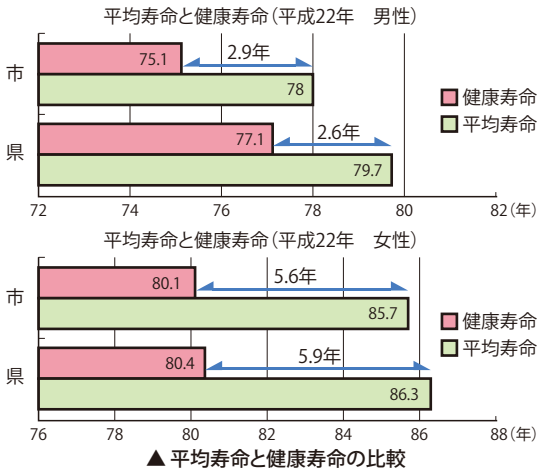
「健康寿命」とは何ですか。

健康福祉課長 「健康寿命」とは、介護を受けたり病気で寝たきりにならず、自立して健康に生活できる年齢のことです。平成22年度の統計で、本市は男性75・1歳、女性80・1歳です。

健康になれば費用も下がってくると考えました。

健やかに生活して幸せになれる、健康社会の実現に向けた「健康になれるまちづくり（スマートウェルネスシティ）」の取り組みができないですか。

健康福祉課長 身体の健康だけでなく、生きがいを持って生活できる状態を「健幸」すなわち健康であることが幸せと定義し、歩くことを基本としたまちづくりの実現を目指すものです。参加している市町の手法等を参考にしながら取り組んでいきたい。



臨時・非常勤等職員の待遇改善を

市長 「慎重に対応したい」



山本 泰秋

市長 慎重に対応したい。

②「行政サービスの質の向上」の為に、臨時・非常勤等職員の待遇改善、雇用の安定に向けて、雇用期間の廃止等、思い切った、経験者採用枠の拡充による正規職員への転換を図ってはどうか。

①現在、鳥羽市の臨時・非常勤等職員は何人で、正規職員との対比等は。

総務課長 平成25年4月1日現在の臨時・非常勤職員は、合計171人(正規職員は364人)で、全体の32%となっています。

「一宿一(逸)品運動」で活性化を

市長 「観光」と「漁業」連携の動きあり



▲パールロード(展望台)から眺めた「潮騒海域」

「一(逸)品運動」の展開によって、観光客等に、鳥羽の味覚、を認識して頂くことで、観光振興、水産資源のブランド化等につながるのではないのでしょうか。

市長 最近、業者間で観光と漁業の連携の大切さが盛んに言われており、このすばらしい地の利を生かして、お客さんが増えるよう頑張りたい。

観光立市・鳥羽への観光客の旅行目的の第一位は「食」であります。特に、伊勢湾の入口で、神島を中心にして、塩水(黒潮)と淡水がぶつかり合っている、潮騒海域で捕れる魚介類は、まさに、天下逸品の「食材」だと思いますし、その旬の地物の味を鳥羽に宿泊されるお客様に、必ず一品以上を食べて頂く「一宿一(逸)品運動」の展開によって、観光客等に、鳥羽の味覚、を認識して頂くことで、観光振興、水産資源のブランド化等につながるのではないのでしょうか。

市の人口減対策と未来ビジョンは

市長 働く場の確保と子育て支援の充実

今年には市政60周年の節目に当たり、今後の少子高齢化に伴う

今後の旧市街地の町並み整備は歴史や文化財のある寺や神社の町並み整備が必要と考えますが、これからの都市再生整備計画は。建設課副参事 中心市街地の町並みの整備を目的とした実施計画はありませんが、ここまで、まちづくり交付金を活用して、一丁目から四丁目までの中心市街地で魅力ある施設の整備を行ってきたことは、町並みの景観の向上につながっていると考えています。町並みの整備となりますと、目指す地域の姿を実現する強い思いを持って、住民の合意のもとに住民と行政が一体となって、実現できるものと考えます。



井村 行夫



▲整備された城山道

人口減対策と未来ビジョンは。

市長 若い人の生活意識の変化のなかで、働く場をつくり、子育て支援をしっかりとって若い人の意識を変え、まちに来ていただく人に対する仕組みづくりを考えないといけません。今後、行政だけでなく商工会議所、青年会議所等若い人たちと一緒に考えて考えなくてはならないと感じています。

ほか、菅島採石場緑化の延長の問題に対して鳥羽市民の環境と自然を守る条例の第三章緑化の推進の適用について質問しました。

議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の特例に関する条例を制定しました

議員報酬及び議員の期末手当に係る支給額については、議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例で定められています。

この議員報酬については、役務の対価ということが基本と考えられますが、疾病その他の事由により、長期間市議会の会議を欠席することを余儀なくされた議員が議員報酬や期末手当を辞退または返還することは、公職選挙法に規定される寄附行為に該当するため禁止されています。また、このような場合における議員報酬の支給等のあり方について規定した法律等も制定されていないことから、欠席期間に応じ、議員報酬等を減額する条例が新たに制定されました。

(条例一部抜粋)

第3条 議員が疾病その他の事由により、議会の会議等を長期間欠席したときの議員報酬は、議員報酬条例の規定により支給されるべき議員報酬から、議

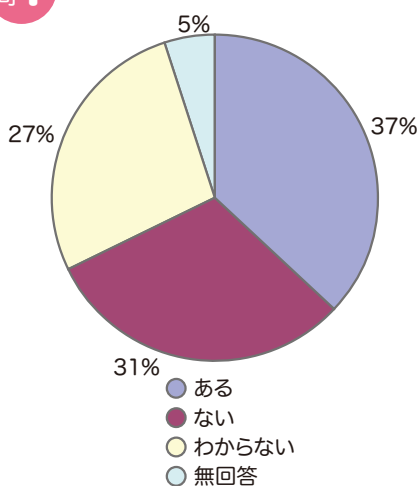
会の会議等を欠席した日から議会の会議等に参加した日の前日までの期間(以下「欠席期間」という。)に応じて、当該議員報酬に次の表に定める割合(以下「減額割合」という。)を乗じて得た額を減じた額とする。

欠席期間	減額割合
90日を超え180日以下であるとき	100分の20
180日を超え365日以下であるとき	100分の50
365日を超えると	100分の100

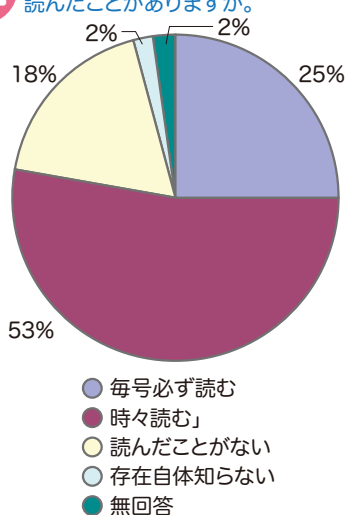
第4条 6月1日及び12月1日(以下これらの日を「基準日」という。)の前日から6月前までの間において、前条の規定により議員報酬が減額支給された月があるときの期末手当は、議員報酬条例の規定により支給されるべき期末手当から、当該期末手当に減額割合を乗じて得た額を減じた額とする。

鳥羽市議会に関するアンケート調査 結果報告書

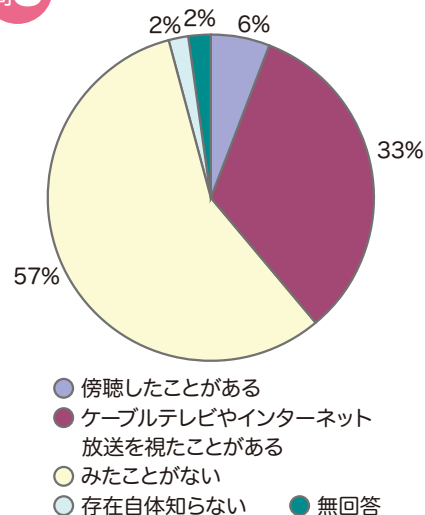
問1 市議会に関心がありますか。



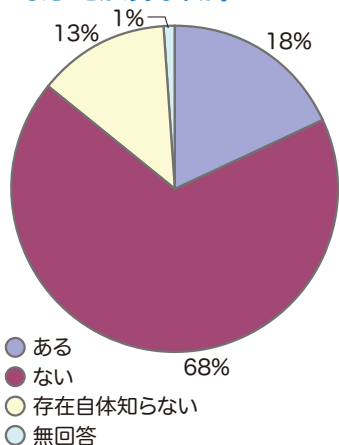
問2 とば市議会だより(議会の広報誌)を読んだことがありますか。



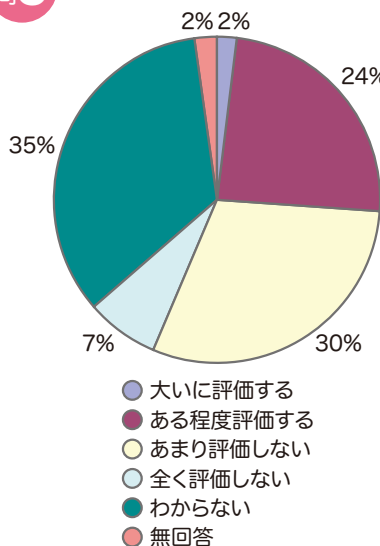
問3 市議会の会議をみたことがありますか。



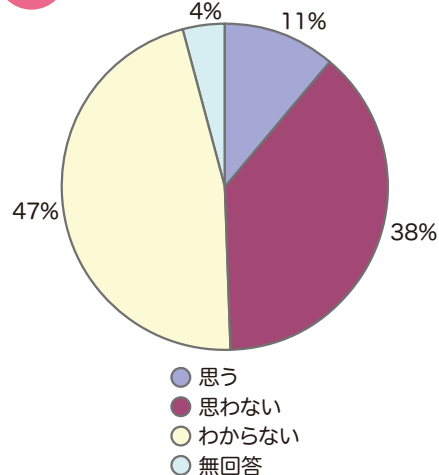
問4 市議会では、平成21年度から毎年、各地域で議会報告会を行っています。参加したことがありますか。



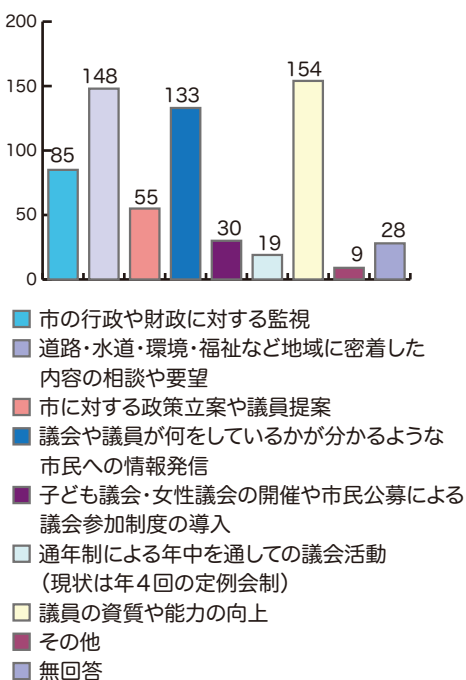
問5 現在の市議会をどのように評価しますか。



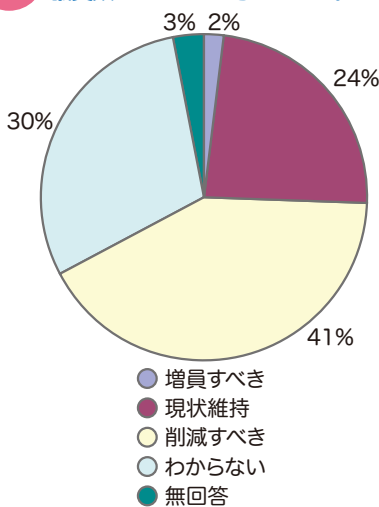
問6 市民の声が生かされていると思いますか。



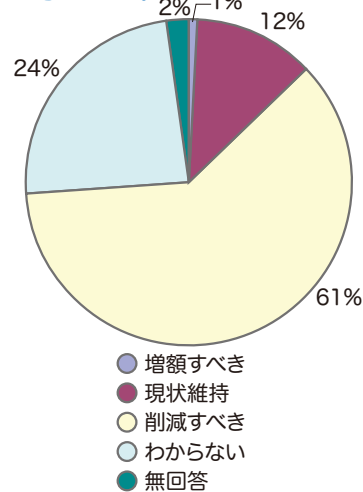
問7 あなたが市議会や議員に期待することは何ですか。(複数回答可)



問8 現在の議員定数は14人ですが、議員数についてどう思いますか。



問9 議員に毎月33万5千円の報酬が支給されていますが、これについてどう思いますか。



●調査対象/市内在住満18歳以上の市民 ●配付数/1000件
●調査方法/対象者本人記入方式の調査票を郵送 ●回収数/322件
●回収率/32.2%

「議会報告会並びに意見交換会」での 市民意見と回答

「議会報告会並びに意見交換会」で頂いた市民意見を議会で精査しましたので回答いたします。紙面の都合上、一部抜粋となりますので、全てをご覧になりたい方は市議会ホームページの議会基本条例ページ又は市役所3階の議会事務局でご覧下さい。各町内会や自治会へは該当分を配布しています。



市役所(行政)に対する **意見** と **回答**

企画財政課

ふるさと納税を進めてはどうか。

ふるさと納税については、特産品の充実や、クレジット収納による利便性の向上を図りながら推進した結果、寄付金実績は下記のとおり大きく増加しています。

平成21年度 13件 1851千円 平成22年度 14件 1532千円

平成23年度 58件 3942千円 平成24年度 84件 4250千円

平成25年度 734件 35997千円 ※平成25年度については平成26年2月25日時点

教育委員会事務局

教育委員会委員の選任方法は。

教育委員会制度の根拠法律「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、教育委員は、当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し、識見を有するものの中から、地方公共団体の長が、議会の同意を得て任命しています。

環境課

合併浄化槽をもっと増やす
手立てはあるのか。

平成25年度においては前年度56件から79件に申請件数が増加しています。現在も広報・ホームページ等で普及啓発を行っており、更なる周知を図ります。

観光課

鳥羽の観光のPRを
もっとしてほしい。

昨年は、式年遷宮を契機とした誘客やPRに取り組み、6月には神島で吉永小百合さんの来訪イベントや、国崎町での御潜神事の再現、10月には菅島において伊勢えびの千匹干し、東京六本木ヒルズにおいて鳥羽から海女姿100人が上京したPRイベントなどを実施しました。また、鳥羽の伊勢えび、鮑、鯛を「日本の祝い魚」と名付け情報発信を行うなど、食の魅力づくりを図り、宿泊施設の多い鳥羽の魅力を高める取り組みを行っています。今後も、インパクトや話題性のある取り組みや企画を模索し、効果的な鳥羽PRを行っていきます。

建設課

空き家対策を進めてほしい

市では管理不全の空き家に対して所有者を特定し、管理不全の状態を改善するよう指導等を行います。

教育委員会事務局

児童生徒の基礎学力の低下が
目立つが、レベルアップを。

教育委員会、学校、保護者並びに地域の方々と一体となり、子どもたちの基礎学力向上に向けて様々な取り組みを進めます。

農水商工課

イノシシ・猿の被害に
困っている。

猟友会の協力により、サル、イノシシ、シカの駆除を行っています。また、通報のあった地区には職員が出動し追い払い等も行ってはいますが、出没を食い止めることが出来ない現状です。また、市民への取り組みとして、動物駆逐用煙火の無償配布(5本)、電動ガンの貸出、海苔網の無償提供も行っています。

第2伊勢道・白木インター・チェンジの出口正面に、「志摩市へようこそ!」の看板が立ったが、違和感がある。鳥羽市の看板がなぜないのか。

観光課

大きな看板を設置した場合、周辺の景観を損ねることから、観光案内として同所に看板を設置する計画はございません。

地震対策、鳥羽に活断層はないのか。国に調べるよう陳情して欲しい。

総務課

鳥羽市においては、白木町から松尾町にかけての1本、松尾町に1本、浦村町に3本の計5本が推定活断層として示されております。(三重県ホームページ防災みえ.jpに掲載の三重県詳細活断層図を参考)

子育て支援施策をやっているのに、なぜ人口が減っていくのか。

健康福祉課

近年、日本の人口は減少に転じており、特に地方部での減少率は著しい状況です。このような中で、本市では人口減少抑制のために、独自に子育て世帯等を応援するための施策を充実させており、その結果、子育て世帯の流出数の減少や出生数の増加など、明るい兆しがみえてきていますが、死亡者数が出生数を上回っているのが現状です。

鳥羽に働く場がない。

農水商工課

希望職種と求人とのアンマッチが原因と思われることから、インターンシップ受け入れ事業所の拡大を図り、市内業種の魅力を知っていただくことで雇用に結び付くよう努めています。

松尾第2期工業団地はあのままか。もっと活用できないか。

農水商工課

現在のところ、契約には至っていませんが、企業誘致活動の中で、同団地に関心を寄せていただいている事業所もあり、新規立地に向けて話し合いを進めています。

遊休農地を市がもっと活用・整備し、一般市民に貸し出してはどうか。

農水商工課

農地の所有者が管理できなくなった農地を登録していただき、借りた方へ紹介して利用していただくための「農地バンク制度」を平成25年度より実施しています。

24年度事業の効果表のようなものは出ていないのか。若者定住策の効果はどうか。数字を聞くとそれなりに効果は出ている。

企画財政課

これまでの実施した事業効果につきましては、毎年、総合計画の政策体系に基づき「めざすまちの姿」への進捗状況を外部の有識者の方に施策評価として公開の場で評価いただいているほか、個別の事務事業についても事務事業評価として検証し、決算成果という形で説明書を作成しています。これらの結果は、市のホームページでご確認いただけますので、ご覧いただければと思います。若者定住策につきましては、平成23年度から「鳥羽の定住応援事業奨励金」という形で実施しています。奨励金対象者の市外からの転入実績は、平成23年度の2件から平成24年度は10件に増加をしていますことから、一定の効果が見受けられます。

水道料金も消費税値上げに連動して値上げするのか。水道は1億円くらい黒字ではないのか。

水道課

消費税値上げに伴う今回の改定は、消費税の増額のみでの改定になります。

24年度決算のうち、昨年と比べて人件費の少ないのはなぜか。

総務課

職員の退職及び新規採用に伴い職員構成が異なること及び、退職者が前年度と比較すると5名減少したことから人件費は減額となっています。

企画財政課

離島の駐車料金が高く、西駐車場並みに
下げたい。

佐田浜市営駐車場につきましては、鳥羽市開発公社が運営を行っているところでございます。第1～3駐車場では、現在平日に1時間無料と
していますが、4月から土・日・祝も1時間無料を実施するほか、1時間
超2時間以内の駐車料金を600円から500円に値下げを行ない、市民や
観光客の利便性向上を図ります。また、定期駐車については、第1～3駐
車場の料金改定は行いませんが、西駐車場の駐車料金を負担軽減を図る
ため月額9000円から7000円に値下げを行ないます。今後も鳥羽市開発
公社の経営状況を勘案しながら、より利用しやすい利用料金について検
討を行ってまいりますので、ご理解をお願いします。

消防本部

消防分団の今後の推移は。

市全体の課題ではありますが、現消防団員から地元住民への勧誘等に
より定数の確保に努めて頂いております。また、協力事業所認定制度の
活用や市職員への消防団加入の呼びかけも実施しております。

健康福祉課

夜間休日診療体制の状況は。

志摩医師会の協力により、週3日(木、金、土)の平日・夜間(22時まで)
及び日・祝・年末年始(昼間)を開設し、志摩市の休日診療所と合わせて
365日開設しております。本来、24時間対応できるのが望ましいのです
が、時間の延長または日数の増加については、医師の減少と高齢化等の
問題から、これ以上の日数の増加と時間の延長は困難であり、また、そ
他のスタッフの確保も困難な状況です。しかし、現在、市と医師会が中心
となって医療と介護の連携を図っており、持病等のある在宅患者に対し
ては、深夜等でも往診による医療的処置が可能となる体制の整備を検討
しています。

教育委員会事務局

小中学校の統廃合と問題点は。

小規模校については、児童生徒の適正な学習環境の提供を考え、統合
も含めた、学校の適正配置の検討を進めています。学校統合では、学校区
が変わる場合、安心安全な通学方法を示し、保護者の理解を得られるよ
う説明する必要があります。

農水商工課

1次産業の推進を進めてほしい。

平成26年中に鳥羽市農水産物等直売所を開設し、第1次産業の振興
と農漁村の活性化を図っていきます。

建設課

市民の森の周り堤防等の樹木の整備、
堤防沿いの明かり、市営球場の
樹木の管理ができていないので
徹底管理してほしい。

両公園の樹木管理においては、低木(夏季1回)高木(冬季1回)剪定し
ており、その他危険な樹木に関しては、その都度直営にて伐採しており
ます。なお、堤防沿いの明かりにつきましては、現在安久志自治会に外灯を
設置していただいております。



市議会に対する **意見** と **回答**

職員給与削減を行って 議員の減給はないのか。

平成 25 年第 2 回定例会で市長を始め、執行部職員の「給与の臨時特例に関する条例」を審査した際、所管委員会である総務民生常任委員会で議員分の削減について議員間討議を行い、「ラスパイレス指数の単年比較のみに基づいた国からの強引な削減要請は地方自治の根幹を損なう」や「鳥羽市はこれまで他の自治体に先駆けて行財政改革を行ってきたが、今回の削減案も苦渋の決断をしたので尊重すべき」などの意見があり、「議案としては賛成するものの、今後、国がこのような対応をすることのないよう、意見書などを提出すべき」との意見も出されました。また、非公式ではありますが、9月13日開催の全員協議会終了後、出席した議員で改めて議員分の削減について協議を行いました。結果としては、執行部のように削減するには至りませんでした。以上のような議論や協議を行いましたことをご報告させていただきます。

議員定数も多い。

平成 3 年から 23 年までの 21 年間で 4 回にわたって議員定数を 24 名から 14 名に約半減させました。この措置は、類似団体との比較や市民の皆様の貴重なご意見を伺いながら、議員自ら必要と感じて提案してきたものであり、結果として、三重県下では、尾鷲市(人口 20,081 名)の 13 名に次ぐものとなり、鳥羽市(人口 21,038 名)よりも人口の少ない熊野市(人口 18,806 名・共に平成 25 年 10 月 1 日現在)の 16 名よりも少ないものとなっています。最も重要なことは、地理的要素も考慮して市民の皆様の貴重なご意見を市政に反映させることと考えておりますことから、今後も議会全体で真剣に議論して参ります。

伊勢志摩は一体の考え方から 志摩市議会や伊勢市議会と、 もっと交流や連携を行い、 意見交換等を通じて、地域の 活性化に向け、アイデアを拾い 上げるような体制づくりは できないか。

現在、三重県下 14 市で組織する三重県市議会議長会(年 2 回開催)のほかに、津市以南の 7 市で組織する中南海都市議会議長会(年 2 回開催)、伊勢志摩地域の 3 市 3 町で組織する伊勢志摩地域市町議会連絡協議会(年 1 回開催)、鳥羽市以南の 4 市で組織する四市正副議長会(年 1 回開催)を開催し、地域の活性化に向けて交流・連携を図っています。議会全体としては、以前は、伊勢市議会及び二見町議会と交流・連携を図っていましたが、両市町が合併したこともあり、現在では、伊勢湾架橋や伊勢湾フェリー問題を機に交流・連携を図っている愛知県田原市議会のみとなっています。貴重なご意見を頂きましたので、議長会等をきっかけに近隣市町議会との交流・連携を積極的に働きかけて参ります。

三重県議会鳥羽市選挙区 (一人区)の死守を 市一丸となってやってほしい。

前回の議会報告会で回答させて頂きましたとおり、県議会と市議会、町議会が対等な立場に立って交流・連携をすべく三団体間で協議を行っていますが、組織の規模や諸般の事情も大きく異なるため、事務分担等で合意するには至っていない状況です。県内の市議会では 14 市で構成する三重県市議会議長会の正副会長市が中心となって協議を行っていますが、条件が整い次第、交流・連携をしていく方針で、現在も何ら進展がない状況です。地元選出の県議会議員との意見交換会等については、結果として実施されていませんが、三重県議会の選挙区と定数見直し案については、鳥羽市民の意見をより反映させることが出来るよう、地元選出の県議会議員と協力して「近隣市との合区」や「単独の鳥羽市選挙区をなくさない」ように要望したところです。今後も、県下や市の状況を見極めながら、交流・連携を図って参ります。

5月から鳥羽市議会は通年会期になります

問

そもそも通年会期とは
なんですか。

答

地方自治法という法律が改正されて、これまでのように年4回の定例会や臨時会といった区分を設けず、1年間を議会の会期とすることで、より弾力的な議会運営を可能にした制度のことです。

問

市議会が通年会期にすると、
どんなメリットがありますか。

答

例えば災害などが起こった場合、速やかに会議を開くなどの対応が可能になることや、審議時間に余裕を持たせることが可能となることから、さらに議会活動が充実強化されます。

問

鳥羽市議会が
通年会期を導入する経緯を
教えてください。

答

鳥羽市議会では、これまで3月6月9月12月に開かれる年4回の定例会と随時開かれる臨時会で審議してきました。平成24年に法律が改正されたことにより、通年会期が選択できるようになったことから、すでに通年で会議をおこなっている他県の議会へ視察に伺ったり、学識経験者を招いて勉強をしながら、導入の是非について検討を重ねてきました。

問

鳥羽市議会の通年会期は
いつから始まるのですか。
また、会期はいつまで続くのですか。

答

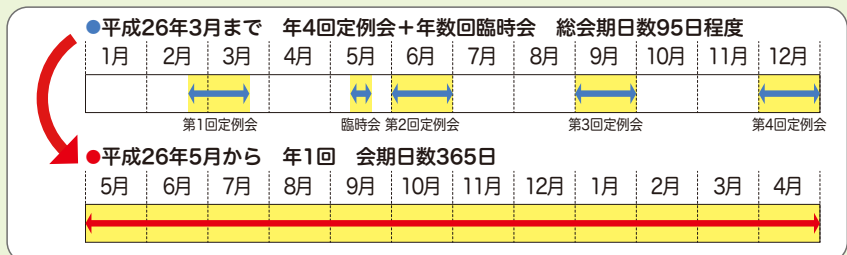
毎年5月1日から翌年の4月30日までの会期365日間になります。ただし、一年間毎日会議が続くわけではなく、これまでのように原則は3月6月9月12月に集中的に審議する運営となります。

問

通年会期になることにより、
議会はどのように変わりますか。

答

市民の要求に素早く応えられることで、さらに市民に身近な議会を目指していきます。



平成26年 5～6月会議予定

- 本会議(役員選挙等).....5月15日(木)
- 本会議(議案上程).....6月 6日(金)
- 本会議(一般質問).....6月12日(木)~16日(月)
- 本会議(議案質疑).....6月17日(火)
- 総務民生常任委員会.....6月18日(水)
- 文教産業常任委員会.....6月19日(木)
- 予算決算常任委員会.....6月20日(金)
- 本会議(採決他).....6月26日(木)

※会議日程は変更する場合があります。

平成25年度鳥羽市議会議員研修会を開催しました。

去る1月15日に、新潟県立大学国際地域学部田口一博准教授より「通年会期制について」という演題でご講演いただきました。

なお、この研修会の様子はYouTubeの録画でご覧頂くことができます。 <http://youtu.be/Fu-lbWscKUM>





きらり輝く人達

今きらりと輝いている鳥羽市出身の人達にスポットをあてる企画、今回は内閣危機管理監の西村泰彦さんです。

内閣危機管理監 西村泰彦さん

プロフィール

1955 年生まれ。1979 年警察庁入庁後、警察庁警備局長、警視總監などを歴任。
2014 年 1 月に警察庁を退官し、2 月から現職。



Q. 警視總監や危機管理監と聞くと堅いイメージがありますが、西村さんの人柄や趣味を教えてください。

A. 友人からはソフトで警察官には見えない(笑)とよく言われますが、「春風(しゅんぷう) 駈蕩(たいとう)」を座右の銘にしています。趣味は野球で今でもたまにプレーしています。他に、今はできませんが、沖縄で始めたスキューバダイビング、沖縄空手など、体を動かすことが好きです。

Q. お仕事が忙しくて、帰省も難しいと思いますが、西村さんにとって故郷の鳥羽はどんな場所でしょうか。

A. 親切で温厚な人々、豊かで美しい自然の恵みに育まれて今の私があります。正に鳥羽は私の原点です。なかなか帰省できませんが、鳥羽城跡から鳥羽湾を眺めていると心が和みます。また、時に友人から届く海の幸は大好物で、鳥羽の味を堪能し、幸せをかみしめています。

Q. 最後に、鳥羽市民にメッセージをお願いします。

A. 人口が減少し、町中も活気がなくなりつつあるようで気がかりです。美しい自然、恵まれた海の幸、そして優しく親切な人々に、これらの鳥羽の宝を活かし、観光都市として発展するよう祈っています。また、現在の私の仕事柄、南海トラフ地震・津波に備え、安全な町作りを進めてもらいたいと思います。



▲4月8日鳥羽市観光協会との意見交換会

- | | | | | | | |
|----|----|----|----|-----|------|-----|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 |
| 野村 | 坂倉 | 坂倉 | 松井 | 中世古 | 井村 | 寺本 |
| 保夫 | 紀男 | 広子 | 一弥 | 泉 | 行夫 | 春夫 |

とば市議会だより
編集委員会

記 坂倉広子

編集後記



とば市議会だより第147号をお届けします。
風薫る新緑の季節、市民の皆様は如何お過ごしでしょうか。
さて、昨年は伊勢神宮御遷宮効果もあり、鳥羽市へも47.8万人(対前年比16%)のお客様にお越しいただきました。今年からはその効果も落ち着く予想のなか、鳥羽マルシェが佐田浜地区に完成予定で、沢山の観光客にお越し頂けることを期待しています。
市議会としても、鳥羽の主要産業である観光をバックアップしていきたいと思っています。